

I 平成28年7~9月期平均結果の概要

東京都の完全失業率 2.7%

前年同期に比べ0.6ポイント低下した。

主な動き (図1、図2、表1、統計表第1表、統計表第2表)

労働力人口 (15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者を合わせたもの)

- ・労働力人口は777万7千人で、前年同期に比べ8万3千人(1.1%)増加した。
- ・男女別にみると、男性は2万人(0.5%)、女性は6万3千人(1.9%)、いずれも増加した。

〔就業者数〕

- ・就業者数は756万7千人で、前年同期に比べ12万6千人(1.7%)増加した。
- ・男女別にみると、男性は5万9千人(1.4%)、女性は6万7千人(2.1%)、いずれも増加した。

〔完全失業者数〕

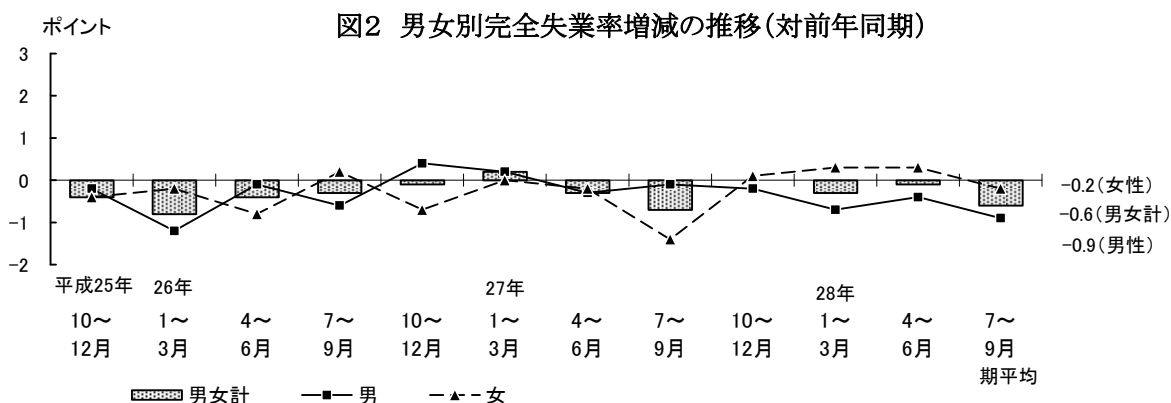
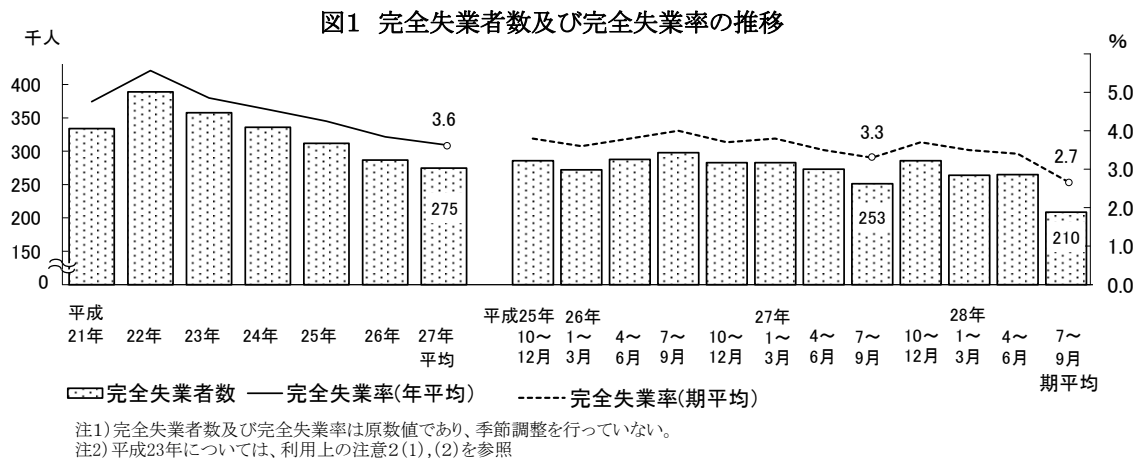
- ・完全失業者数は21万人で、前年同期に比べ4万3千人(17.0%)減少した。
- ・男女別にみると、男性は3万9千人(24.1%)、女性は4千人(4.4%)、いずれも減少した。

非労働力人口 (15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者以外の者)

- ・非労働力人口は425万8千人で、前年同期に比べ1万2千人(0.3%)増加した。
- ・男女別にみると、男性は2万2千人(1.5%)増加し、女性は9千人(0.3%)減少した。

完全失業率 (労働力人口に占める完全失業者の割合)

- ・完全失業率は2.7%で、前年同期に比べ0.6ポイント低下した。
- ・男女別にみると、男性は2.8%、女性は2.6%で、男性は0.9ポイント、女性は0.2ポイント、いずれも低下した。



1 労働力人口

労働力人口は777万7千人となり、前年同期に比べ8万3千人（1.1%）増加した。

男女別にみると、男性は444万5千人、女性は333万1千人となり、男性は2万人（0.5%）、女性は6万3千人（1.9%）、いずれも増加した。

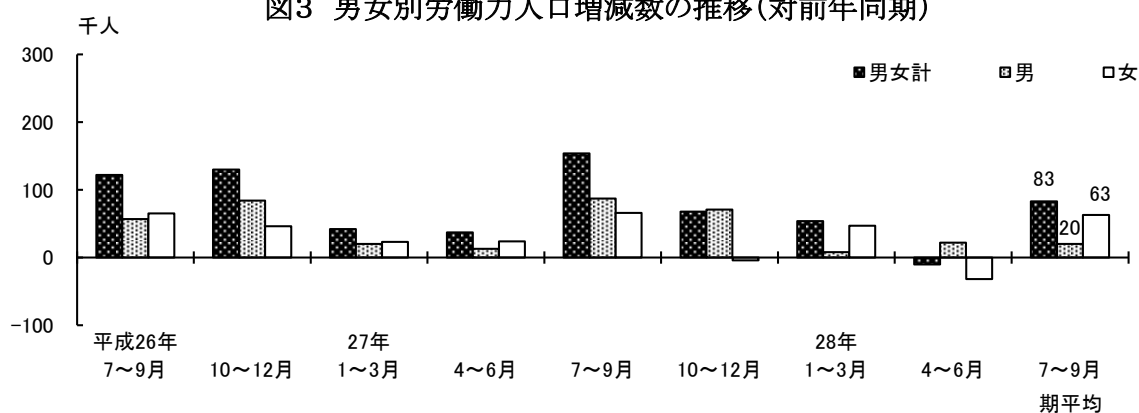
一方、全国の労働力人口は6687万人となり、前年同期に比べ63万人（1.0%）増加した。

（表1、図3、統計表第1表、統計表第2表）

表1 就業状態別、男女別15歳以上人口 [単位 東京都（千人）、全国（万人）、%、ポイント]

就業状態等	男女計	男	女	対前年同期						
				増減数			増減率			
				男女計	男	女	男女計	男	女	
東京都 (千人)	15歳以上人口	12,045	5,909	6,136	104	48	56	0.9	0.8	0.9
	労働力人口	7,777	4,445	3,331	83	20	63	1.1	0.5	1.9
	就業者数	7,567	4,322	3,245	126	59	67	1.7	1.4	2.1
	完全失業者数	210	123	87	-43	-39	-4	-17.0	-24.1	-4.4
	非労働力人口	4,258	1,457	2,801	12	22	-9	0.3	1.5	-0.3
	完全失業率	2.7	2.8	2.6	-0.6	-0.9	-0.2	—	—	—
全国 (万人)	15歳以上人口	11,079	5,347	5,733	2	2	1	0.0	0.0	0.0
	労働力人口	6,687	3,776	2,911	63	12	51	1.0	0.3	1.8
	就業者数	6,480	3,649	2,831	80	19	61	1.3	0.5	2.2
	完全失業者数	206	127	80	-18	-7	-10	-8.0	-5.2	-11.1
	非労働力人口	4,385	1,567	2,818	-60	-10	-50	-1.3	-0.6	-1.7
	完全失業率	3.1	3.4	2.7	-0.3	-0.2	-0.4	—	—	—

図3 男女別労働力人口増減数の推移(対前年同期)



2 就業者

(1) 就業者数の推移

就業者数は756万7千人で前年同期に比べ12万6千人(1.7%)増加した。

男女別にみると、男性は432万2千人、女性は324万5千人となり、男性は5万9千人(1.4%)、女性は6万7千人(2.1%)、いずれも増加した。

一方、全国の就業者数は6480万人となり、前年同期に比べ80万人(1.3%)増加した。

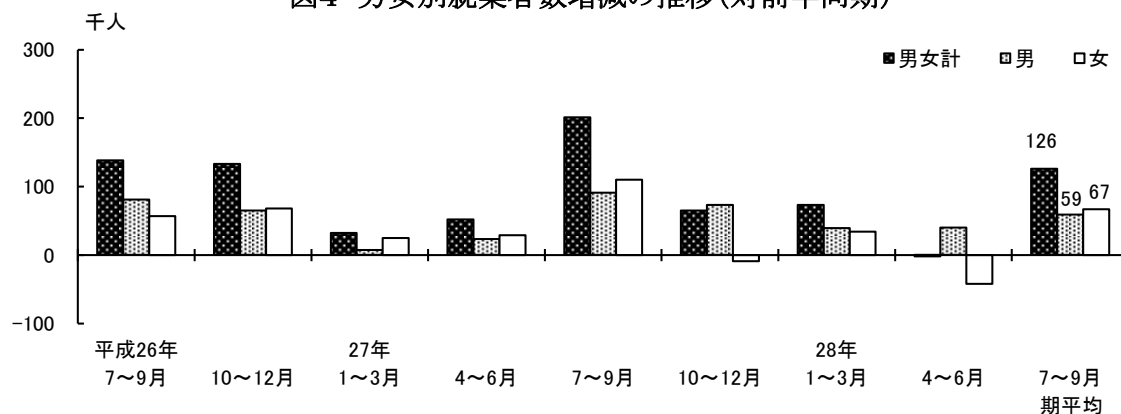
(表1、表2、図4、統計表第1表、統計表第2表)

表2 男女別就業者数の推移

(単位 千人)

期平均	就業者数			対前年同期増減数		
	男女計	男	女	男女計	男	女
平成26年 7～9月	7,240	4,172	3,068	138	81	57
10～12月	7,341	4,177	3,164	133	65	68
平成27年 1～3月	7,276	4,174	3,102	32	7	25
4～6月	7,476	4,239	3,237	52	23	29
7～9月	7,441	4,263	3,178	201	91	110
10～12月	7,406	4,250	3,155	65	73	-9
平成28年 1～3月	7,349	4,213	3,136	73	39	34
4～6月	7,474	4,279	3,195	-2	40	-42
7～9月	7,567	4,322	3,245	126	59	67

図4 男女別就業者数増減の推移(対前年同期)



(2) 雇用者数の推移

雇用者数は685万6千人となり、前年同期に比べ6万2千人(0.9%)増加した。

男女別にみると、男性は385万2千人、女性は300万4千人となり、男性は1万5千人(0.4%)、女性は4万7千人(1.6%)、いずれも増加した。

(表3、統計表第1表、統計表第3表)

表3 男女別雇用者数の推移

(単位 千人)

期平均	雇用者数			対前年同期増減数		
	男女計	男	女	男女計	男	女
平成26年 7～9月	6,568	3,745	2,823	160	89	71
10～12月	6,628	3,736	2,892	121	60	60
平成27年 1～3月	6,564	3,737	2,827	13	-14	26
4～6月	6,743	3,796	2,947	113	47	66
7～9月	6,794	3,837	2,957	226	92	134
10～12月	6,705	3,798	2,907	77	62	15
平成28年 1～3月	6,657	3,786	2,871	93	49	44
4～6月	6,810	3,855	2,955	67	59	8
7～9月	6,856	3,852	3,004	62	15	47

(3) 企業の従業者規模別非農林業雇用者数

非農林業雇用者数全体では685万1千人となり、前年同期に比べ6万4千人(0.9%)増加した。

企業の従業者規模別で見ると、「1～29人」規模は前年同期に比べ5万6千人(3.3%)減少し、「30～499人」規模は5万8千人(2.8%)増加し、「500人以上」規模は1万9千人(0.8%)増加した。

(表4、統計表第1表、統計表第6表)

規模	非農林業雇用者数			対前年同期					
	男女計	男	女	増減数			増減率		
				男女計	男	女	男女計	男	女
総数	6,851	3,848	3,003	64	13	50	0.9	0.3	1.7
1～29人	1,644	933	711	-56	-21	-35	-3.3	-2.2	-4.7
30～499人	2,157	1,165	992	58	-10	68	2.8	-0.9	7.4
500人以上	2,474	1,412	1,062	19	-7	26	0.8	-0.5	2.5

注) 総数には官公、従業者規模不詳を含んでいるため、内訳の合計とは一致しない。

3 完全失業者

完全失業者数は21万人で、前年同期に比べ4万3千人(17.0%)減少した。

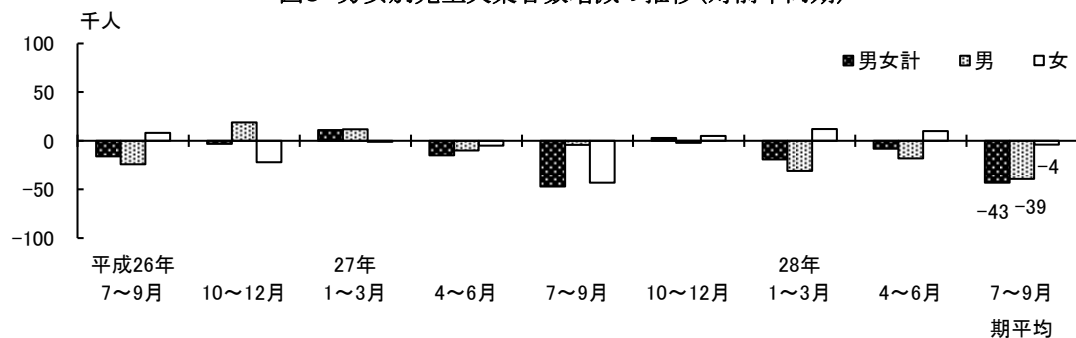
男女別にみると、男性は12万3千人、女性は8万7千人となり、男性は3万9千人(24.1%)、女性は4千人(4.4%)、いずれも減少した。

一方、全国の完全失業者数は206万人となり、前年同期に比べ18万人(8.0%)減少した。

(図1、表1、表5、図5、統計表第1表、統計表第2表)

期平均	完全失業者数			対前年同期増減数		
	男女計	男	女	男女計	男	女
平成26年 7～9月	300	166	134	-16	-24	8
10～12月	285	181	104	-3	19	-22
平成27年 1～3月	285	170	115	11	12	-1
4～6月	275	165	110	-15	-10	-5
7～9月	253	162	91	-47	-4	-43
10～12月	288	179	109	3	-2	5
平成28年 1～3月	266	139	127	-19	-31	12
4～6月	267	147	120	-8	-18	10
7～9月	210	123	87	-43	-39	-4

図5 男女別完全失業者数増減の推移(対前年同期)



4 非労働力人口

非労働力人口は425万8千人となり、前年同期に比べ1万2千人（0.3%）増加した。

男女別にみると、男性は145万7千人、女性は280万1千人となり、男性は2万2千人（1.5%）増加し、女性は9千人（0.3%）減少した。

一方、全国の非労働力人口は4385万人となり、前年同期に比べ60万人（1.3%）減少した。

（表1、表6、統計表第1表、統計表第2表）

表6 男女別非労働力人口の推移

（単位 千人）

期平均	非労働力人口			対前年同期増減数		
	男女計	男	女	男女計	男	女
平成26年 7～9月	4,308	1,478	2,830	-56	-32	-24
10～12月	4,229	1,464	2,764	-64	-53	-13
平成27年 1～3月	4,306	1,483	2,823	26	13	13
4～6月	4,170	1,444	2,725	45	20	24
7～9月	4,246	1,435	2,810	-62	-43	-20
10～12月	4,258	1,434	2,824	29	-30	60
平成28年 1～3月	4,357	1,523	2,834	51	40	11
4～6月	4,291	1,478	2,813	121	34	88
7～9月	4,258	1,457	2,801	12	22	-9

5 完全失業率

（1）年齢階級別、男女別完全失業率

完全失業率は2.7%となり、前年同期に比べ0.6ポイント低下した。

男女別にみると、男性は2.8%、女性は2.6%となり、男性は0.9ポイント、女性は0.2ポイント、いずれも低下した。

年齢階級別、男女別にみると、最も高いのは、男性は「15～24歳」で4.2%、女性は「25～34歳」で3.1%であった。最も低いのは、男性は「35～44歳」で2.0%、女性は「65歳以上」で1.4%であった。

（図1、表7、統計表第1表）

表7 年齢階級別、男女別完全失業率

（単位 %、ポイント）

年齢	完全失業率			対前年同期増減数		
	男女計	男	女	男女計	男	女
総数	2.7	2.8	2.6	-0.6	-0.9	-0.2
15～24歳	3.4	4.2	2.6	-1.8	-2.3	-1.3
25～34歳	3.0	3.0	3.1	-1.0	-1.8	0.0
35～44歳	2.4	2.0	2.9	-0.4	-1.1	0.5
45～54歳	2.6	3.0	2.0	-0.9	-0.8	-1.1
55～64歳	2.7	2.6	2.9	-0.2	-0.2	-0.2
65歳以上	2.4	3.0	1.4	0.9	0.9	0.7

(2) 完全失業率の全国、南関東との比較

東京都の完全失業率は2.7%となり、全国及び南関東（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）の完全失業率3.1%より0.4ポイント低かった。

前年同期と比較すると、東京都は0.6ポイント、全国は0.3ポイント、南関東は0.2ポイント、いずれも低下した。

(図6、統計表参考表)

図6 東京都と全国、南関東の完全失業率の推移

